夕刊
新京日日新聞
定價 一部金三錢 一個月金八十錢 一個月金十五錢（郵稅）
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇〇番・三一二五番
發行人 十河榮男 編輯人 松本啓二郎 印刷人 谷

各國の經濟主義の發展方向監視
英帝國各代表協議會協定に 帝國政府愼重注意

【東京三日發國通】英帝國は經濟會議開催中自治領各代表と協議會を

＝開催＝ し通商障碍の緩和除去に關し考究を進めたが、結局オツタワ協定を確認强化して協議會を終つた、其結果英帝國經濟ブロツク內で各自治領間は特惠關稅制度を確保することに決定した、尨大な原料生產品を保有し之を低廉に利用し、外國品には關稅障壁を設けて之を排斥せんとするものであるから之が實行にあたつては各國の受くる打擊は頗る甚大で英帝國と緊密なる關係を有する日本としては之に充分の警戒注意を拂ふと同時に今後の對策としては通商平衡策により爲替のバランスを取る爲貿易管理を爲す必要ありとし外務當局は各國の經濟帝國主義の發展方向を監視し最近成立せる英帝國各代表協議會協定に

＝愼重＝ なる注意を拂つて居る

滿洲各地の七月分の小賣物價
關東廳調査課

一、騰落割合 前月に比し大連、奉天、四平街、安東の地方は騰貴、營口撫順、新京の三地方は下落、旅順は保合の狀態を示せり次に前年同月との比較を觀るに各地孰れも騰貴を示し其の騰貴割合の最高は奉天の一割七分、最低は撫順の一割一分九厘なり

更に金輸出再禁止直前の昭和六年十一月との比較を觀るに各地孰れも著しき騰貴を示し其の割合の最高は新京の二割五分九厘、最低は撫順の一割六分一厘なり

尙參考として日本銀行調査の東京小賣物價を觀るに前月に比し七厘騰貴前年同月に比し一割の騰貴、六年十一月に比し是亦一割の騰貴なり 詳細次の如し

	前月との比較	前年同月との比較
大連	騰貴 八厘	騰貴 一二五
旅順	保合 一	同 一二三
營口	下落 五	同 一一九
撫順	同 一〇	同 一一九
奉天	騰貴 七	同 一七〇
四平街	同 六	同 一四二
新京	下落 一〇	同 一二六
安東	騰貴 一	同 一二三
東京	同 七	同 一〇〇

二、騰落品目 前月に比し騰落したる品目（調査地方八個所中三個所以上に於て共通的に騰落したるもの）を掲ぐれば次の如し

騰貴…白米、鷄肉、清酒、白鵠、晒木綿、毛糸、內地物薄團綿

下落…鷄卵、玉葱、馬鈴薯

麥酒（サツポロ及キリン）石油

三、大連と他の各地との比較

大連の物價を一〇〇として各地の物價を比較するに次の如し

日用品は一割七分高（撫順、奉天及新京）乃至二分高（旅順）

魚介類は四割八分高（撫順）乃至一割一分高（安東）

野菜類は十三割五分高（新京）乃至四割七分高（旅順）

果實類は十三割高（新京）乃至三割六分高（旅順）

尙魚菜果實類相場の高低割合は月により著しき相違を示すことあるものとす 各地の詳細次表の如し

	日用品	魚介類	野菜類	果實類
大連	100	100	100	100
旅順	一〇三	一二三	一四七	一三六
營口	一二五	—	—	一二一
撫順	一一七	一〇八	一三九	一二五
奉天	一一七	一二三	一七一	一九九
四平街	一二六	—	—	—
新京	一〇七	一三三	一三五	一三〇
安東	一一〇	一二一	一七六	一四九

四種統稅課稅 圓滿に進捗す
滿洲建國以來の懸案

滿洲國建國以來の懸案となつて居る在滿邦人課稅問題は土地商租問題の

＝解決＝ と去月一日より施行せられたる四種統稅の邦人課稅の圓滿なる進捗に伴ひ漸く問題解決の緖を拓きつゝあるが滿洲國財政部に於いては全滿在住民の平等なる納稅義務負擔と課稅の合理化に全力を傾けることとなり、更に百尺竿頭一歩を進めて、速急に邦人課稅問題を解決すべく既に在滿日本大使館と折衝を開始して居り、大使館側に於いては全滿各地領事館の意見を徵して居るが、大體に於いて滿洲國政府の課稅が根本的に改正せられ且つ合理化せられるに於いては在滿邦人への課稅は當然であり何等課稅を拒否すべき理由なしとの意見一致をみるに至つた

＝模樣＝ で懸案の邦人課稅問題も近く解決せられるものと期待されて居る

滿洲の情勢推移と外國人記者の動向（中）
關東軍參謀部第四課

スレパツクの北京轉任後の活動如何は吾人の豫斷を許さない、然し恐らく北支、特に北平附近を中心とする情勢に注目するのではないかと云はれて居る、スレパツクの後任は未定である、スティールは北京轉任後もニューヨーク、タイムスの極東情報の主任格たる同社上海支局ハレツト、アベンドの指導下に活動を續くることであるが、彼の滿洲後任に就て「英文滿報」は、在奉天合衆國商務館次席ルイズ、シー、ヴエチターがニューヨーク、タイムスの臨時記者となり、今後共奉天に在つて活動すると報じてゐる、ヴエチターがスティールに代つた動機は、第一に在奉天合衆國商務館が七月一日を以つて解消し、主席シー、イー、クリストフアーソンが奉天を去つて濠洲に轉任することになつたことに因るものである、但ヴエチター自身も曾てはロスアンゼルスに於て前記アベンドと共に新聞記者として活動したことがあるとも云はれてゐる、又彼は其後北京に於て無所屬の通信記者として浪人生活の經驗もあり、

支那及滿洲に關し相當の見識もある、特に、在奉天合衆國商務館次席として專ら滿洲經濟事情の調査に意を注いだ彼の經歷は、將來の滿洲事情報道者として適任の人物であり其活動も期待される、在奉天合衆國商務館の解消と其主席の引揚は、合衆國の對滿政策の一轉到として考へられてゐる、從來、合衆國の滿蒙經濟進出の情報機關として指導的活動を續け來たつた商務館の解消は、米國の不景氣に基因する經費上の事情にも因るであらうが、またルーズヴエルト新大統領の對滿政策の一面と見る人もある、尙、去る二月七日附のニューヨーク、タイムス紙上に揭載された次の如き記事も亦其間の消息を傳ふるものとして興味がある「ニューヨーク、タイムス特派、ワシントン、二月六日ロー滿洲の一般情勢は、未だ資源の大開發をなすまでには安定してゐない、然し日本側は新規事業を着々進捗せしめつゝある、之は本日商務省に到着した在奉天合衆國商務館次席ルイズシーヴエチターの報告する所があつた、卽ち、目下日米爲替率は五圓に對し一弗であるが、此圓價暴落は滿洲に於ける米國商品の價格は事實上禁止的の狀態にある、例へば、米國製ラヂオに對し一般人の嗜好は大なるものがあるが、爲替率の關係上販賣額は大減少を來してゐる滿洲現在の經濟發展は主として既存產業の擴張に過ぎず、何れも比較的小資本である、滿洲の一般經濟界は元來極めて不活潑にして、其上茲數年來の大豆輸出の減少と過去一年間の時局の危機に因つて一層微弱となり、新產業に莫大の利潤ありとの見込は薄い、然し日本側としては努めて其發展促進策に援助を與へつゝある現狀である、圓價の暴落は勢ひ日本商品の大進出を促し、日本側輸入業者は大いに利する所があり、新京及び奉天に支店を設置したものが多い、此種日本側營利會社の一九三一年に於ける取引高は一九三一年の其に比し五割から廿割の增加を示してゐる、」

（中略）尙、在東京合衆國副商務官ダグリユー、エス、ドヴドも亦商務省宛、鞍山の日本製鉄所は世界中最も製產費が低廉であるから、將來太平洋沿岸の諸州は勿論、歐州、亞弗利加に向け大々的に輸出さるゝ可能性がある。と」

樺甸縣資源調査團 一日樺甸到着

【樺甸三日青木國通特派員發】二十四日午前四時樺樹林子を出發せる樺甸縣調査團一行は途中嶮路を冒し雨を衝いて二十八日ビヤビコウ着、翌二十九日金鑛の調査を行ひ三十日ダヤビコウ發一日正午樺甸に到着した、行くところ土民の歡迎を受けざるところなく、當地では鮮人小學生が日の丸の旗を振り乍ら一行を歡迎我々を感激せしめた

樺甸は人口四萬、町大きく既に日本人四名が危險を冒して當地に商賣を營んで居り衷心我々を歡迎、二日は縣知事の招待で午後四時縣公署に宴會あり、三日午前六時愈々磐石に向け出發、行程余す處三日一行は元氣益々旺盛である

人絹生絲は棉花競爭品か
米の棉花加工稅會議 贊否兩論で農務長官一任

【東京三日發國通】出淵駐米大使發外務省着電によればワシントンの棉花加工稅課稅に關する長官會議で、人絹と生絲を棉花の競爭品と目すべきか否かの見解に就き贊否兩論で農務長官に一任されたが結局今直ちに生糸を棉花の競爭品として課稅する事は困難と觀られる

チチハル儀 我特務機關長 管內視察談

【チチハル二日發國通】滿洲里方面を觀察中だつた儀我特務機關長は三十一日午前十時歸任したが左の如く語る

赤衛軍が大移動をやつたとの噂はつたが滿洲里は平穩だ、軍隊の移動は演習の爲と思はれる、ハイラル地方は各機關の指導よろしきを得て漸次王道政治が徹底して行くのは愉快だ、自分の管內である興安東分署を見て來たが何分大興安嶺の南方斜面一帶の廣大なる地域を管內として居り、交通不便を極めて居る丈に政治機構が充分でない、現在布西、索倫の二ケ所に出張所を置いてやつてゐるが警察權を有して居らぬので何も出來て居ないと云ふてよい、人口は約十萬でオロチョン、タホ等を含め蒙古人五萬、滿洲人五萬で殆んど農耕に從事し居り極く一少部分が狩獵で生活してゐる程度だ、兎も角同地の開發は何も彼も將來に俟つのみだ

山西理事 宇佐美總局長 大黑河地方を視察

【大連二日發國通】山西理事宇佐美鐵路總局長は滿洲國交通部員と共に約一週間大黑河方面視察に赴くが、大連發は五日午後九時三十分の豫定である

松木中將の榮轉で 西中將司令官事務代行

【奉天三日發國通】故武藤元帥の薨去後關東軍司令官駐滿全權大使關東長官の事務は松木中將が代行して居るが、八月一日の陸軍大異動で松木中將は參謀本部附となつたので西義一中將が代つて事務を取扱ふ事となり、西中將は昨夜八時廿五分着奉山線で來奉本日午後三時十五分發ハトで新京へ赴任の途に就いたが驛頭にて左の如く語る

松木中將の御榮轉で不肖私が代つて事務を執る事となりましたが先づ着任するまでは何とも申上げられません、菱刈司令官の着任も十二、三日頃と噂されて居ますが仲々御忙しいのでもつと遲れるかも知れません、兎に角新京に行つて見なければ何も判りません

珠玉を碎く（七十七）
長篇新映畫上演
吉井勇
（高根秀浩畫）

瑕なき瑕（三）

純子は指環がころ〳〵と轉げ落ちると、はつと思つて急いで、それを拾ひ上げやうとしたが、その時はもうその指環は、莊太の手に摑まれてゐた。

「おい、これは何だ。何うしたのだ」

莊太は指環を拾ひ上げると同時に、それを純子の前に突き付けながらさういつて詰る樣に訊いた。目には暗く疑ひの影がありありと現はれてゐた。

「あゝ、それは……」

純子はさういひ驅けて言葉を途切らして默つてゐたが、やがてほんとのことを打ち明けた方がいゝと思つたやうに點頭きながら、

「何なのよ。あのう……ある女優の方から貰つたんですわ」

「女優から……。誰だ。何ていふ女優だ」

莊太の目は憤りのために燃え上がつてゐた。

「えゝ、あのう……京子さんて人なんですの」

「京子……。何うしてお前はそんな女優を知つてゐるのだ」

「えゝ、それはね、あのう……カフエ・アオヒにちよく〳〵來て下すつた方なんですの」

「ふうん、カフエ・アオヒに……。何だな。それぢやお前がこの間女優にならうなんていひ出したのは、そんな女に唆かされたのだな」

「いゝえ、違ふわ。さうぢやないわ」

さういふと莊太は睨む樣に妹の顏をぢつと見詰めながら、

「それぢや誰が勸めたんだ。がしかしそんなことはどうでもいゝ。それよりもおれが訊きたいのは、どうしてお前がこんな指環をそんな女優から貰つたのだ」

「えゝ……」

純子はちよつと伏目になつて、返事に困つたやうに默つてゐたが、やがて思ひ切つたやうに顏を上げて、

「何うしてつて、別に深い事情はありませんわ。唯あたしが家のことをお話したら、それぢやあなたお金がいるだらうといふので、それを何うにかしろつていつて下すつたんですの」

「ふうん、それぢやあお前はその女優にいろんなことを話したんだな」

「えゝだつて、いろ〳〵訊くんですもの……」

「訊かれたつて話せることゝ話せないことがあるぞ。お前はどんなことを言つたのだ。まさかおれ達の恥になるやうなことを喋つたんぢやあないだらうな」

「えゝ……」

純子は首垂れたまゝ兄の鋭い目を避けるやうにして答へた。

「嘘を吐け」

莊太は突然怒つたやうに大きな聲で、苛々したやうな調子で怒鳴つた。

「お前はいろ〳〵いはなくつてもいゝことまで喋つたのだらう。それでなければこんな指環なんぞ呉れるはずがないぢやあないか」

「いゝえ、別にいはなくつてもいいやうなことは喋りませんわ」

「喋らない……」

さう諭めるやうに訊き返してから、莊太は鋭く妹の顏に燃えるやうな眼差を射付けながら叫んだ。

「何にもいはないのに、こんな指環を呉れる譯がないぢやないか。何だな。それぢやあお前は、何處からかこの指環を盜んで來たんだな。さうだらう。きつとさうに違ひない。お前の顏にはちやんとさういふ暗い影が射してゐるぞ」

北鐵第六次會商愈よけふ開始さる
中心問題はたゞ換算率の協定
交渉好轉の兆萠す

（東京三日發國通）北鐵交渉第六次會商は支障なき限り四日午後二時から開かれることになつたがソ聯側は最近の讓渡價格二億五千萬金ルーブルを五千萬ルーブル値引を提議し來て居るが、一方滿洲國側に於ては飽迄頭初の言値五千萬圓を固持する方針なので兩者の間には依然甚だしき懸隔あり、今後はソ聯と滿洲國とのルーブルの換算率を協定することに依つてのみ双方の主張が接近し得る譯である、ソ聯側は金ルーブルを建値として居るが若し之を漁業協定の場合の如く三十二錢五厘を標準とせば、六千四百萬圓となり、又最近米國とソヴエート間の協定率二十錢を採用すれば二億ルーブルは丁度五千萬圓となり、問題の進捗は一にかかつて換算率を如何にするかにある

ソ聯側評價は
現情を無視の途方もない額
消息通某鐵道技師談

（ハルビン三日發國通）北鐵敷設當時よりの一般事情に精通せる某鐵道技師は大要左の如く語る

東京に於ける北鐵讓渡交渉に於てソ聯側が滿洲國側に要求してゐる讓渡額は極めて途方もない

＝金額＝ であるからこれを承諾する筈はない、ソ聯側の論據の要諦は鐵道の敷設費としての二億五千萬金ルーブルの樣であるがソ聯側は要するに右鐵道は今日比較にならぬ程の安價で敷設し得る事を無視してゐる、露國帝政時代に計畫された彼のトルキスタン鐵道の敷設費に比較してもソ聯今次の讓渡要求額は頗る不當なものだと云ひ得る、元北鐵管理局長オストロウモフ氏によつて敷設された呼海鐵道（松浦より海倫に至る線）は附隨工作費は加算して一區間一萬七千元で敷設されてゐる點を見てもソ聯側の要求の不當なるを立證するに足ると思はれる、現有北鐵の財産即ち機關車デカポート式を除いては全く

＝使用＝ に足りないものが多いと云ふも過言でない、今日の技術並に諸材料費を考察して二十五年乃至は三十年前に敷設された鐵道の價値は三分の一以下に過ぎないと云へやう、世界的不況の今日各工場主は勞働者の離散と工場閉鎖を防止するためその製産品を捨て賣りせんとしてゐる程である

即ち一例を示せば米國の「ボールドウキン」及び「アメリカン、ロコモチフ、ウアークス」の二大機關車製造工場は例年幾百臺の機關車を外國に輸出して居たものが一九三二年度の統計に依りますと僅か三臺の機關車を輸出して居るに過ぎないと言ふ極めて悲境にある點から見ても今日鐵道を

＝敷設＝ せんとすればこの安價な材料と相俟つて近代文化の粋を集めた鐵道が二、三十年前に敷設されたものと費用の三分の一で敷設される譯である、更に一例を示せば家屋を購入せんとする場合先づ考慮されるのは

一、家賃の收入の程度
一、地代
一、家屋の購入當時の價格
一、購入當時の價格の償還期

等であらう、從つて滿洲國側においても北鐵を買收するに當り、右の四大原則を考慮するは當然の事と思ふ、云々

北鐵理事會は
七、八日頃開會されん

（ハルビン三日發國通）北鐵問題現地解決の北鐵理事會開會は武藤元帥薨去により延期中であつたが、愈々七日或は八日と決し滿洲國側は管理局長權限問題を中心とする實質的滿ソ平等權主張の北鐵內部改造案を以て臨むこととなり李督辦は二、三日中に來哈の森田交通部司長と提出議案の最後的審議を行ふはずであるが之に對しソ聯側は

一、東西兩線封鎖の現情附隨
一、デカポット機關車使用權
一、交換車輛の淸算
一、非營業機關經費の削減

の四議案を出し應酬することになつたが双方の主張がどの程度に一致點を見出し得るか非常に注目されて居る

滿洲國側は
實質的平等を提議
相當紛糾豫想さる

（ハルビン三日發國通）滿ソ兩國の北鐵共同經營の平等權を中心とする滿ソ兩國側の幹事會理事會の全体會議は既報の如く

＝愈々＝ 來る七、八日頃開催されることとなつたが、滿洲國側は北鐵管理局長及び副管理局長の權限を平等とし、且實的に又量的に廣汎に亘つて滿ソ双方の事實的折半主義の履行に加へ有名無實の金ルーブル建運賃を現實に則したる紙幣建に改變する事等多年の懸案を、既決協定たる奉露協定に基き滿州から之が加速度的具体化を要求し、北鐵の組織に根本的改造のメスを入れ、從來ソ聯側の專橫の結果營利的機關たる交通機關が北滿に於けるソ聯の赤化政策の足溜りとなり、能動的に政治的策動の機關たる病源を根底より除き相互平等の立場より地方産業の開發並びに文化の向上に資せんとする根本方針であるが右に對しソ聯側は經濟的に

＝疲弊＝ せる隣接自國歸道の經濟狀態の向上を圖らんとする見地から義にソ聯側の不法行爲を難詰する爲、滿洲國が封鎖した東西國境驛に於ける直通ポイントの原狀回復を要求し、更に義に一方的に露領に持逃げした北鐵所屬の機關車デカポート式一二四車輛は飽くまでソ聯の所有物たる事を立證することに努めんとし、且運輸連絡上の交換車輛の淸算と北鐵が從來負擔して來た鐵道警察裁判所其他非營業的機關に對する經費の大々的節減を敢行して現下の北鐵の財政狀態の改善を計らんとする方針であると確聞するが、管理局長の權限問題は一九二九年の露支紛爭の導火線となつた重大問題であるので果してソ聯側で二つ

＝返事＝ で滿洲國の要求を容認するか否や疑問とされて居るが北鐵讓渡交渉も先般來東京に於て行はれて居り、時勢が急速に變遷せる今日ソ聯側も近視眼的政策に拘泥するは大所高所よりソ聯にとつて不得策として居るから問題は局地的にとした波瀾もなく解決するだらうと言はれて居るが態度の豹變はソ聯の常套手段であるからソ聯側に誠意無くその出方如何によつては日睦に迫つた北鐵幹事會の全体會議は相當紛糾するものと觀られて居る

ゲ、ペ、ウ抑留漁夫
二日釋放さる

（京城二日發國通）ゲ、ペ、ウに抑留された漁夫十名は外務省の抗議で二日釋放された

黑省公署と滿鐵に移る
札免公司の管理

（チチハル二日發國通）大興安嶺イレクテ附近の森林採伐權を有する札免公司は滿鐵と滿洲國合辨で一切の事務はハルビンにて管理されてゐたが今回黑龍江省公署と當地滿鐵事務所に移管され前者は實業廳長、後者は當地滿鐵地方事務所長を代表者と決定した同公司經營に就き萬事不便だつたハルビンより當地に移管されたことは事業の發展上頗る便宜多かるべく其の結果は注目されてゐる

ロンドンタイムス
支那外債問題を論ず

（東京二日發國通）外務省着電によれば一日のロンドン、タイムス紙は支那外債問題に關する在支通信員よりの長文の通信を掲げてゐるが、その要點は左の如くで支那の借款のからくりに言及すると共に列國はもはや支那をして債務支拂を延滯せしめ財政紊亂の極に達せしむべきでない點を指摘して居る

支那は長年延滯し居る外債をかへり見ずして

＝機會＝ あらば新たなる外債を得んとして居るが今日まで列國が債權の督促を差控へ來つたのは支那政府の安定を懸念せるによるものである、然るに今や外國債權者等は債權を主張し自國政府に對し一層積極的手段を採らんことを勸說すると共にその債權は國家を毫も利する事なく却て益々財政的困難に陷らしめる目的に使用されゐることを指摘して居る例へば米國の棉麥借款の如き支那に對し時價二億銀弗の返濟義務を負はしむるものでその借款には從來の債權者が優先權を有する收入を擔保としてゐるか支那政府が延滯中の債務を考慮せずその收入を擔保とするが如きは許すべからざる事であり現に

＝支那＝ は兵器、航空機等を買入れんとして居り、實主側は關稅收入を擔保とすることを要求しつつあるが、延滯額七百萬ポンドを越ゆる鐵道借款は契約上鹽稅收入を擔保となしあるに拘はらず、支那政府は何等右債務を履行して居ない始末である、例へば北寧線は支那に於ける最も有利な線として元利を規則正しく拂ひ來つたものであつたがその莫大なる每年の剩餘利益の一分は他の鐵道借款の擔保に供せられるに至り、更に近年は右金額は他の目的に使用される事となり、月額五十萬弗は胡蘆島の築港に投ぜられ、又滿洲の新線敷設に用ひられた

＝之等＝ は議論緊迫の目的に出でたものであるが、その結果は日本をして一九三一年の行動に出でしめたる主因となつた若し北寧線の收入が正當に使用されたならば滿洲事件も起らず、支那も領土を失はなかつただらう吾人は此上支那をして財政紊亂の極に達するまで延滯を續けしむ可きでない

獨墺關係愈よ惡化
歐洲の時局危機に直面か

（パリー二日發國通）ヒツトラー政權の確立以來獨墺關係は日を追ふて

＝惡化＝ しつゝあるが、最近更にドイツの飛行機數臺が突如オーストリヤ領內に現はれ、空中からナチスの宣傳ビラを撒布し又ドイツの放送局からドルフス、オーストリヤ首相排擊の放送が行はれたなどの事件あり、兩國の關係は極度に尖銳化するに至つたので中央ヨーロツパ政局の推移に至大の關係を持つフランス政府は二日關係數ヶ國政府に對し獨墺關係の改善に關する通牒を發し、今後更に斯くの如き事件を繰り返すことを避けるため、必要な場合には關係各國が共同動作を執る可能性に就き考慮されたき旨を提議した一方フランス政府は去る七月二十二日ナチスの突擊隊が國際聯盟の管理する、ザール地方に侵入し住民三名を拉致した事件に對し二日正式に獨乙政府に抗議を提出した

＝尚ほ＝ ザール市政委員會委員長も右事件に關し聯盟に對し同樣抗議し斯くて獨墺關係に端を發した歐洲政局の不安は佛國を中心とする諸國側の動向如何に依り再び重大危機に直面せんとする情態となつた

米支間に締結を傳へる
航空秘密協定內容
全文三章十七ヶ條

（東京四日發國通）昨年末以來米支間に進行しつつありと傳へられて居る航空に關する秘密協定は最近ワシントンで駐米支那公使施肇基と國務省との間に締結されたとの情報があるが、本協定は三章十七ヶ條、附屬細則四文、協約一其他設計書航空路標等よりなると言はれその要旨は大体左の如くである

一、米支兩國は世界平和の確保九ヶ國條約の擁護に努め其領土保全を尊重するの初志貫徹の爲、相協力航空の充實を圖り、以て空軍の基礎樹立を期せんとし相互に全權を派し協約を締結する

一、本協定は有効期間五ヶ年にして調印と同時に其の效力を發生する、期限後は兩國政府で修正の提議又は廢止の聲明をせぬ限り有効に繼續し得るものである

一、支那航空の改善充實に就き米國側は全責任を以て施設計畫を爲し双方の同意を經るに非らざれば第三國と航空に關係ある如何なる條約も之を締結し得ず

一、支那航空の發展に要する經費はその半額を支那政府に於て調達し殘餘は米政府及び其の指定する米國工商業者より信用借附をなし政府よりの貸金は利息を免除す

一、支那航空建設に要する經費の總額を當分米貨四千萬弗と定める

一、支那沿岸に修理工場を四つ設立し一切の所要の機械は米國より購入し半ヶ年以內に其引渡しを完了する

一、右の工場長は米國人を任命する、但し支那政府は之を指導監督し且支那人を使用する

一、支那航空公認着陸場格納庫等は適宜沿岸の部分を先きに擇び建設することを得、少なくとも本年內に汕頭、泉州、鎭海、海州等の着陸場を建設し上記各着陸場の建設費は其十分の八を米政府より補助し必要の場合米飛行機、飛行船の自由着陸を供與する

一、國防の急に應ずる爲大体三期に分ち支那飛行機の建造をなし必要の場合は米政府より既成の國防用飛行機を支那に融通する

長岡大使の歸朝で
大公使級異動？

（東京三日發國通）內田外相は駐佛大使長岡春一並びに駐英大使館參事官加藤外松兩氏に對し、歸朝命令を發した、加藤參事官は單なる賜暇歸朝なるを以て再び任地へ歸任するが、長岡大使は歸朝と同時に待命を仰付けられるものと觀られて居る、從つて長岡大使の後任は現ベルギー大使佐藤尙武氏が轉じ、之に伴ふ大公使級に相當の異動が行はれるものと期待されて居る

長岡大使

佐藤大使

佛國先占の九島中
六島はラサ燐礦が發見のもの
先占權留保を通告？

（東京三日發國通）フランスが先占を宣言した南支の九島中六島は外務、海軍の調査の結果、サラ燐礦が發見し事業を經營して居たことが判明し、軍事的にも重大なので外務當局は尙調査の上フランスに對し左の理由からフランスの先占權留保に關し通告を發することに內定した

一、六島に於ける燐礦會社の既得權利は他國の先占により何等毀損せず
二、且つ右島は臺灣に近接し、我船舶も往來頻繁で軍事的意義極めて重大である
一、從つて我國は軍事的見地に基き非常な場合の同島に於ける軍事的權利留保の必要がある

人事往來

▲小山中佐（新京憲兵隊長）三日午後四時三十分發四平街へ
▲牛尾教授（姫路商業學校）三日午後六時五十五分來京
▲西中將（第○師團長）三日午後七時五十分着來京
▲近木事務官（內務省）三日午後十時發大連へ
▲大津中佐（關東軍電信隊）四日午前六時四十分來京
▲平澤大佐（飛行第十一大隊長）四日午後八時四十分發ハルビンへ
▲小谷代議士（滿鮮視察團）
▲松木中將（第○○團長）四日午前九時發四平街へ
▲吉川二郎氏（日本基督教會牧師）內地旅行中の處三日午後七時廿十分歸京

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

項目	相場
倫敦銀塊	一七片八分七
同 遠限	一七片一六分一五
紐育銀塊	三六仙〇〇
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

●棉花

▲上海標金

▲大連金鈔票

▲大阪三品

▲大阪棉花

▲大阪期米

各地市場

▲大阪株式

▲同短期

[illegible]

馬車五百臺が 昨日大經路で立往生
轍が狹いから道路が壊れると 突然の交通禁止命令

首都新京の交通取締に關する日滿兩當局者協議眞際中の三日午後五時に至り

「突如」大經路、大馬路、三道街、四道街一帶の煉瓦、砂利木材、セメント等諸建築材料運搬荷馬車の通行を何等の通告もなく禁止した、これがため後から〳〵續いて來る荷馬車が忽ちのうちに五六百に達し雜沓の巷と化し當業者は口々に當局のこの横暴な交通禁止に憤慨してゐたが大經路署保安主任の英斷で昨日一回だけは交通を許可この混雜を解消した右當局突然の禁止理由は荷馬車の中に轍の幅が狹いものがありこれがため道路を破壊するといふのである、然るに目下建設途上にある新京において直ちに荷馬車の統制をなすことも事實上出來得ないことであり且つ、この保安會議席上の議が突然街頭に適用され荷搬の途中突如として交通禁止、憤慨し當局のこの態度今日

「以後」の建築材料運搬方法等に關し業者は寄り〳〵協議中である

食糧缺乏 多倫園場附近

〔奉天三日發國通〕多倫及園場附近視察者の談によると多倫に在つた劉桂堂、吉鴻昌軍は約二千五百であるが、最近物資缺乏のためボツボツ南下を始めつゝあり、園場附近の人心は割合に平穩で日滿軍に

電信に依る外道なく、內地宛電報はかなり混雜してゐる、故障の原因は猛烈な暴風が南部朝鮮を襲つたものらしい

武藤元帥薨去に對し チチハル蘇聯領事哀悼を表す

〔チチハル二日發國通〕當地ロシア領事ドリビンスキー氏代內田領事を訪問し武藤全權の薨去に哀悼の辭を述べて辭去した

故武藤元帥の追悼會 七日ハイラルで

〔ハイラル三日發國通〕當地駐屯の日本軍司令部では來る七日東京に於ける故武藤元帥の告別式と日時を一致させて官民合同の盛大なる追悼會を催すこととなつた

對しては非常に好感を示して居ると

七時三十分ごろ新京驛構內引込みの貨車上で大豆の積込作業中突然腦溢血を起し死亡した、届出により新京署から係員急行檢視の末死体は家族に引渡した

榮轉の三氏に送別會の催し
その他へは記念品

憲兵司令官橋本少將、栗原總領事、小山憲兵隊長の三氏が此度いづれも榮轉されることになつたが

「新京」市民に取つて最も關係深きこの三氏に對し聊か感謝と惜別の意を表するため來る八日午後七時、ヤマトホテル納涼園において荒木地方事務所長、勘崎地方委員議長、佐々木副領事、高山署長ら發起の下に官民合同送別會を盛大に開催することになつた、會費五圓、奮つて一般の參會を希望し七日午後三時までに會費を添へて地方事務所庶務係（電話二〇一三番）に申込まれたいと、また同じく近く

「離滿」される佐野主計總監、篠原、横山、齊藤各大佐、富岡兵器部長その他各課長級の人々に對してはそれ〳〵見事なる記念品を贈呈することになつた

勅使 皇后皇太后御使御來邸 故武藤元帥慰靈祭

〔東京三日發國通〕故武藤元帥遺骸は武藤邸內の十四疊の間の祭壇に移され、喪主みさを孃はじめ能婦子未亡人、林葬儀委員長、植田中將等涙の對面をなした、十時半勅使黑田侍從 皇后御使 皇太后御使御來邸、十一時半林、眞崎各將軍の參列の上慰靈祭執行、零時半終了した

京城釜山間 電信不通となる

昨夜十一時突如釜山京城間の電信に故障生じ內地及び滿洲間の電信聯絡は不通となつた今朝に至るも未だ復舊の見込つかず、それが爲內地に向ふ電報は大連より長崎に至る海底電線と、大連東京間の無線

蔣介石の招電で 黃郛急遽南下
接收問題、察哈爾問題協議

〔北平四日發國通〕戰區各縣接收未完了のため廬山行を延期して居た駐平政務整理委員長黃郛は昨日又蔣よりの催促により突然昨夜十時西便門驛より乘車平漢線を南下せり

〔天津四日發國通〕黃郛は三日午後十時何應欽北平市民袁良その他多數要人見送裡に北平發南下した同氏は五日午後六時漢口着直ちに廬山に蔣介石を訪ひ戰區接收報告並に察哈爾問題に就て重要打合せをなす筈である

江順丸乘客 二十餘名拉致さる

〔チチハル三日發國通〕滿洲國汽船江順丸は松花江上流を航行中扶餘縣下長春嶺沿岸にさしかかつた際突如匪賊廿餘名に襲はれ陳第二旅長息子以下廿四名を拉致、現大洋六千元を掠奪された

五、一五海軍公判 非公開の儘開廷
三上中尉熱辯を振ふ

〔橫須賀三日發國通〕五、一五事件海軍側被告公判は非公開のまゝ九時開廷、三上中尉は法廷外に於てつゝぬける例の熱辯で捲し立て警官や憲兵も持て餘しの態であつた一時三十五分、西村裁判長は辯護人申請の實地檢證は必要なしと却下を宣言した

陸軍側公判 吉原政已の審理に入る

〔東京三日發國通〕五、一五事件陸軍側被告公判は三日午前八時開廷され吉原政已の審理に入る

鄉土關係で大西鄉を幼時より欣慕してゐた非常時日本に悧巧者は要らぬ、金も要らず、名も要らず、命も要らぬと云ふ大馬鹿者が必要だと字句を飛ばし、南洲の征韓論より大陸政策の批判に觸れ、農村窮乏とエロ跳梁の社會を難じ、我等は憲法擁護、議會開明の爲に起つた、憲法破壞の意志は無いと述べ、日銀襲擊は半分以上が財閥の勢力下に在るためだ、六年末陸軍將校の全部が國家革新運動を決意してゐたと信ずる旨を述べ、滿廷緊張す

牧野內府は討洩らしたが、鈴木氏に警告を與へたから滿足だ

と述べ、十一時三十分阪元兼一の審理に入る

大久保の空家での陸海軍の會合の結果、犬養首相牧野內府暗殺組は、東鄉元帥を擁して戒嚴令を奏請せしめ政友會、民政黨襲擊組は刑務所を襲ひ、井上日召等血盟團員を奪還せんと計畫したと述べ、三時五分閉廷した

日、白庭球戰 日本忽ち優勝

〔レンズート二日發國通〕二日より當地に於て舉行されたデ盃戰ルールによる日、白庭球試合第一日の戰績は佐藤、布井共に單試合に勝ち布井、伊藤組も亦複試合に勝つて日本既に三勝し優勝した

八月中の團体來京者 八千八百余名

夏季の訪れと共に全國の各學校が一齊に開始した暑中休暇を利用する學生或は夏枯の閑散なる諸事業の餘暇を有益に活用して世界注視の的となつて居る滿洲へ、新京へと陸續として押寄せて來る視察團、見學團、旅行團等の數は夥しいもので七月中に於けるこれ等團体の來京客は總計百十回の八千八百八十二人、內學生團体五十回、二千三百七十二名、普通團体二十回八百五十六名、人工團体四十回五千六百五十二名で、每日平均三團体平均の割である

慶大勝つ 對奉天滿倶 4A―2

〔奉天三日發國通〕奉天倶樂部對慶大滿洲遠征軍の野球戰は三日午後五時十分より奉天先攻で大賞球、伊藤壘外一名三氏審判のもとに開始、結局四A對二で慶大勝つ、閉戰七時五分

彩票の一萬圓を ソツクリ慈善事業に
ハルビンの奇篤な外國婦人

〔ハルビン三日發國通〕當地新市街居住、某外國婦人（本人の希望により特に其の名を秘す）は先般邦商前田時計店で買つた滿洲國水災彩票一等一萬圓に當選したが、同婦人は奇篤にもお金額を日本側を始め各種の公共機關に寄附したい趣で同店を通じ日本側に對する寄附金圓を添え我が總領事館に申出でたので總領事館當局でも喜んで之を受納し北滿慈善會、赤十字病院、朝鮮人の慈善事業等に分配方を手配中であるが、同婦人の奇篤な行爲は各方面から非常な感謝と賞讃を博してゐる

米國の麥酒解禁で 腸詰材料羊腸大暴騰
ハルビン當業者大ホク〳〵

〔ハルビン三日發國通〕從來腸詰の材料として賞讃されてゐる羊の腸は一包四十八錢だつた所右値段は此の程六十四錢に暴騰するに至つたが、その原因はアメリカで麥酒が發賣される樣になり、アメリカの左利きは腸詰を肴に麥酒の滴を引く樣になり、北滿よりアメリカへの羊の腸の輸出が增加した爲であると、尚ハルビンの當業者はおかげで商賣が繁昌するとてアメリカの左利黨に對し俄に叩頭百拜の態である

湯玉麟の歸順 未だ許されてゐない
對馮共同戰線說など全然嘘傳 ―軍政部當局談―

最近湯玉麟が滿洲國に歸順し滿洲國軍と共同戰線を張り馮玉祥討伐の決意をなした如く傳へられてゐるが、右に對し滿洲國軍政部當局は全然其の事實なしと否定し、大体左の如き意向を示してゐる

一、湯玉麟は最近親滿態度を示し義に滿洲國に使を派して歸順の申込を爲した事實はあるが、滿洲國としては熱河事變を惹起するに至つた當面の責任者たる湯玉麟の歸順問題は極めて重大問題であり、人心に影響する點が多いので、輕々にこれを許可する樣な事はない

一、湯玉麟は現在熱河西方大閣鎭に在つて手兵約二千を擁してゐるとの事だが之だけの力では馮玉祥を討伐出來まいし又討伐する決意を有してゐるかどうか疑問である

一、滿洲國軍は假令湯玉麟が討馮共同戰線を張る樣に申込まれても湯と手を繫ぐ意志は全然ない

人夫頓死

山東省生れ市內高砂町六二番地國華棧第四號國際運輸會社人夫高玉山（三七）は四日午前

承德在住邦人 滿洲國日系官吏が第一位

〔承德三日發國通〕六月末現在に於ける當地在住邦人人口並戶數左の如し

	戶數	男	女	計
內地人	一三九	一七〇	六九	二三九
鮮人	一七	二四	八〇	一〇四
計	一五六	一九四	一四九	三四三

之を五月末に比すれば內地人戶數四十二、人口六十三の增加、鮮人戶數一增加、人口は二十一の減、而して右內地人を職業別に見ると最も多いのは滿洲國官吏及雇傭人で七十九名次は官公吏の三十三、所謂桃色の戰士とも云ふべき娘子軍は九十一に達し總人口の四分の一强を示してゐる

國都建設局の水源起工式

國都建設局では豫ての計畫に係る南嶺の各水源井の起工式を五日午後三時南嶺の現場に於て擧行するので各方面へ案內狀が發せられ、參加者には往復のバス用意されてゐる

潭月池から一般への給水
愈よ近日中に實現

既報、水飢饉に備へる石井式濾過機は西公園の備付を終り目下細菌檢査所の手で細菌檢査中で、こゝ兩三日中には準備を終りいよ〳〵潭月池の水を汲上げこれを濾水にかへ一般に給水することになつた、大体每日二、三百トンの豫定で、これで既報の如く第四水源地工事進捗による三井戶の完成と共に新たに一日千トン以上を增すことになり、水道係當局でも大喜びである

新市街用の水源地を築造
あす南嶺で起工式

國都建設局では新市街用の水源地築造計畫として南嶺に水源井六つを新設することとなり、明五日午後三時より愈よ起工式を行ふことになつた、總湧水量一日三千トンの見込みで日本內地の平均一人使用〇、一トンと見て三萬人分を給水出來る勘定である、經費約九萬圓、來る九月中には完成の豫定で工事は滿山組、田中組、長谷川工務所、鈴木梅本組が分擔することになつた

米國海軍の大擴充計畫
新艦廿一隻を建造

〔ニユーヨーク二日發國通〕ルーズベルト大統領は二日夜二十一隻の新艦建造計畫を裁可したもの結果官立並びに私立造船所では直ちに建艦に着手することゝなつた、右計畫は公共事業費より二億三千八百萬弗を支出し、三十二隻を建造せんとするもので、今回は其の中二十一隻を建造するものであると

清算誓ひも空しく
赤い女流作家再び市ケ谷へ

〔東京二日發國通〕赤い女流作家岩佐よし子（二八）は去る六月警視廳に檢擧され、過去の清算を誓つたので起訴猶豫となつたが、清算の誓ひ空しく市ケ谷刑務所に強制收容された

察哈爾問題 飽迄和平解決
何應欽對馮問題を語る

〔北平三日發國通〕北平軍事分會代理委員長何應欽は三日居仁堂に於て次の如き談話を發表した

察哈爾問題に就ては徹頭徹尾和平解決を原則とし先日蔣汪連名で四項よりなる訓電を發したが、之に對する馮玉祥氏は措辭婉曲なるも其意圖極めて强硬なるを以て當局では第二段策として

一、馮軍多數の折柄局部的な對外行動は、國家の前途を危くするものなる故抗日名義取消を望む

二、馮玉祥希望の宋哲元歸任は中央でも言明の如く近來寶昌、康保一帶より南下し赤城、龍關附近に蟠居してゐる劉桂堂軍、雜軍及び其の各地に點在する雜軍を整理の上馮所屬部隊を宣化、張家口を撤出せよ

三、馮部隊張家口撤出後宋哲元主席歸任まで佟麟閣察哈爾警備司令の名義で治安を維持す

右の案を近く馮玉祥に打電又は代表を派遣して和平解決を圖る

尙黃郛は大體五日平漢線で南下し、蔣中正（蔣介石）等と會見、外交及び察哈爾問題を討議し一週間後に歸平の豫定であると

東四省接收委員會
馮玉祥が新設

〔北平四日發國通〕馮玉祥は「東四省接收委員會」なるものを新設し同會に秘書、政治、軍事、財政の四局を設くる旨を公表した、尙馮は自己軍隊に日本人三人が居るとの風說を流布し、何等かの逆宣傳に利用せんとなし居り又劉桂堂軍は滿洲國軍と何等かの關係あるかの如く支那各士に宣傳してゐるが、右は何れも死地に近附いた馮の惡あがきとして一般の注目を惹いて居ない

興安總署が管下地方の大調査を行ふ

大同二年度豫算通過に伴ひ滿洲國政府各部に於ては着々新年度事業實施に着手してゐるが、秘境蒙古を管下とする興安署に於ては二年度事業として從來信憑し得る確實な調査を缺く省內の行政機構、生產現狀、資源文物、警備等に就き詳細なる調査を得て省內發展に資することゝなり目下夫々專門の各部門に分ちて調査研究の具体案を立案中であるが成案を見次第各省內機關を總動員して調査研究に着手する筈である

安東

國境警察隊移駐

國境に於ける密輸取締り及び治安維持に努力しつゝあつた安東國境警察隊の大黑河移住は愈々決定的となり、遲くも今月中旬頃安東出發の模樣であるが同警察隊の撤退に依り必然的に起るものは滿洲側に於ける密輸防止力減退とギヤング密輸團の跋扈する折柄でもあり、今後の安東稅關に於ける稅收上にも相當影響あるものと憂慮され財政部では國境警察隊の移駐後は目下私鹽取締りに當つてゐる安東鹽務緝私隊の武裝人員に依つて取締りを徹底せしめるものと豫想されてゐる

國幣取引 發會式を擧ぐ

〔安東發〕安東取引所の錢鈔株式市場に於ける滿洲國幣定期取引發會式は一日午前十時から同市場で擧行された、定刻振鈴と共に拍手を以て開會高橋理事長の挨拶に對し取引人組合委員長原田市松氏祝辭を述べ、栗栖市場係主任によつて一同威勢よく記念撮影の後直ちに當限十三日限の初取引を開始百圓に生れ百圓十錢あり九十九圓七十錢止の相場で、取引出來高二十二口十二萬と云ふ成績でお祝儀商內にしては多く最初から實需取引を行つた模樣である

映畫だより

長春座は四日から六日まで六日の日曜は晝夜久米正雄原作雜誌富士連載小說晴曇を松竹蒲田の男女總出動で撮影した十五卷、同社ト加茂特作高田浩吉絹川京子主演の朝霧男の唄ならびにオールトーキー此一戰二十八年前の日本海々戰を再現した海戰映畫これには東鄉元帥の聲がきかれる

ラヂオ

五日（土）新京
奉天後四、〇〇　レコード　相場
新京後四、三〇　商業通信社
同　後五、〇〇　演藝
同　後五、三〇　時事解說　ニュース
東京後六、〇〇　ニュース（滿洲語）東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　語學講座（滿洲語）講師　高宮盛逸
同　後六、四〇　同（日本語）同　植松金枝
同　後七、一〇　ニュース（露西亞語）
同　後七、二〇　ニュース（朝鮮語）
同　後七、三〇　ニュース
同　後八、〇〇　演藝　氣象豫報　放送局編輯及プログラム豫告
同　後八、三〇　時報　ニュース　東京中央放送局編輯

幕末異聞

愛慾火箭（あいよくひや）

（百三十四）　作 瀧川駿　畫 上村瀬洗舟

道中（五）

明るい陽光が、松戸の宿の瓦を煌めかしてゐた。

紅葉屋の二階に陣取つた三人―藤田小四郎、衛門與四郎、早苗だつた。

「久し振りに働いたせいか、腹が減つたよ」

與四郎は小四郎を振り返つて斯う言つた。

「そりや、貴公の病氣が癒つた徴ぢやないか？」

「さうだ、と良いわ……」

早苗は嬉しさうに、與四郎を覗き込んだ。

「おい衛門、こんど貴公が天狗黨に入黨をするに先立つて、拙者から頼みがある」

「何だ？」

「貴公、式を挙げねばなるまい」

「え？」

「はゝゝ、覺りの悪い」

早苗は俯いで、赤くなつて、もぢ／＼してゐるが、與四郎にはまだ得心が行かないらしい。

「貴公と早苗どのとの結婚式ぢやよ。はゝゝゝ」

「はゝゝ、あゝさうか……」

「月下氷人には拙者がならう。所も丁度目出度い松戸の宿ぢや、さあ三三九度の盃ぢや」

小四郎は膳部の上の吸物椀の盃を、與四郎へ差し出した。

「うむ、貴公の仲人とは拙者滿足ぢや……」

吸物椀の蓋で、ぐッと與四郎は一氣に呑み干して、早苗に渡した。

恥かしいのが、先にたつて早苗はをど／＼してゐた。

「さあ早苗どの」

輕く受けた早苗の盃に、人影が映つた。

はつとしたらしいが、知らぬ態で盃をあげた。

何時しか夜に入て、四邊が薄暗くなつて來た。

「おゝ女中灯を持つて參れ」

ばた／＼と急いで女中が灯を持つて上つて來る足音が聞えた。

早苗が與四郎の袖をひいて、何事か耳許で囁いてゐる姿が、ぱッと明りに輝き出された。

醉でうるんだ瞳で、小四郎が笑つた。

「はて盃の今濟んだばかりで……はゝゝゝ」

小四郎の大きな笑ひに、女中まで釣込まれて笑つて了つた。

「どん／＼酒を持つて來い、今宵は目出度い夜だ……」

小四郎の口に聊か弛みが生じたらしい。

早苗は耳の附け根まで、眞赤にして俯向いてゐた。

上りか、下りか、江戸川から艪の軋る音が、心地良い春風と共に流れ込んで來た。

その頃、この座敷の四圍に低く足音を忍んで歩く男がゐた。

と灯の上を掠めて、一箇の礫が與四郎を目掛けて飛んで來た。

「えいッ」

與四郎は身をひそめて、手にした盃で、はッしとその礫を受けとめた。

「うむ」

小四郎は傍の大刀をひき寄せると、じろりと四邊を見廻した。

颯と誰れかゞ、障子を開いた。そのはずみに繰り込んだ風の臨に、灯はぱつと消えた。

あとは闇だ。

「えいッ」

與四郎の背後に、颯と閃いた太刀風があつた。

ひらり體を躱した、その機轉で曲者はとん／＼と延つて行つた。

それをすかさず、小四郎が眞向から斬りつけた。

「あッ」

はつたり倒れる音がした。續くばた／＼と縁を蹴つて騒がしく音がした。軈て靜かになつて行つた。

與四郎と小四郎、早苗はぴつたり身體を寄せて、なほも闇の中を窺つてゐた。

八月五日 土曜　舊六月十四日　癸卯　先勝　成　女宿

●一白の人　昨日の妨害は今日の喜悦となり漸次良化す　丙と庚と亥が吉
●二黑の人　確固たる信念を以て事業を勵めば益繁榮す　亥と壬と艮が吉
●三碧の人　畫策は瓦解し再起容易ならざる境涯に陷る　乙と未と寅が吉
●四綠の人　努力に報はるゝ事少なく新事業に着手は控へよ　坤と申と寅が吉
●五黄の人　弱敵と侮らず一層の奮發心を以て進むが吉　丑と艮と寅が吉
●六白の人　元氣衰へ何事を爲すにも力拔けの狀態なり　庚と亥と癸が吉
●七赤の人　雲の間より日の射す如し暫次晴やかとなる　庚と辛と亥が吉
●八白の人　躊躇せず目的に向ひ突進せよ縁談金談亦吉　辛と亥と艮が吉
●九紫の人　健實を欠き兎角物事投げ遣りとなりて失敗　巳と癸と寅が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行
×三等船客設備船
（午前十時大連出帆）

船名	日付
うらる丸	八月五日
はるぴん丸	八月七日
×たこま丸	八月八日
香港丸	八月九日
うすりい丸	八月十一日
ばいかる丸	八月十三日
×しあとる丸	八月十四日
亞米利加丸	八月十五日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）
●専屬荷扱所
各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社
大連支店
電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二三二一六番

新京日日新聞社
營業部
電三三〇〇番

皮膚、泌尿科
外科、性病科
同仁醫院
富士町二　電話二六〇六番
診療（自午前九時至午後五時）日曜祭日午前中

株式會社
正隆銀行
本店大連
頭取安田善四郎

滿洲銀行

新入荷品
ライカD型カメラ
ライカ望遠レンズ
ライカ廣角レンズ
ライカ用引伸機（ヴアロ井）
コダツク ナーゲルカメラ各種
新京吉野町
寫眞館販賣部
乾
電話二三九〇番

耳鼻咽喉科専門
（入院隨時）
新京梅ケ枝町四丁目二番地（舊東郷眼科醫院跡）
公主堂
三井醫院
院長醫學博士　三井忠
電話二七〇三番

產科
婦人科
堀山醫院
蓬萊町一丁目
電話三一八〇番
入院隨意
日曜、祭日午後休診
免許　天野チサエ
　　　狩野善惠
產婆　小野ヒサ子

床廻材料
ベニヤ板
天井板銘木
椽甲板雑作材
ベニヤ・ドア・製圖板
家具建具材・室内裝飾
（在庫品豐富）
株式會社 吉川商會新京支店
營業所　新京中央通四六
電話二九一三番
本社　東京市深川區富岡町

最も理想的に出來た
新案特許 萬代フスマ
叩いても踏んでも穴のあかぬ堅牢無比の新發明品然も値段は普通のフスマと同値
營業科目
新疊並表替上敷
サカエ式機械床製造販賣
新案特許萬代襖特約製造
新京東二條通
兒玉疊襖店
電二三九〇

唯一の國民保健剤
銀粒仁丹

口中の芳薫
は社交上唯一の條件、常に仁丹を口中して口熱悪臭を除去し、芳香を漂はせる事は社交人の義務

胃腸の强健
は實に日常保健の鐵則、仁丹で胃腸を整へて潑溂たる生活機能の强健化を計られよ

悪疫の豫防
は仁丹の活用が第一策、獨特の殺菌力を持つ仁丹を絶えず服用せらるゝが最も簡便且つ合理的！

愛用家三百萬人　大優待
仁丹を買ふと一等、二等の當籤が直ぐ判る『興味ある仕組み』
（一）仁丹二十錢以上御買上の方へ左記「三等景品」を販賣店で即座に差上ます
（二）右、三等景品の袋を開くと何等に當籤したか直ぐ判ります
一等　美術置時計（一ケ宛）三千個
二等　特製タオル（二枚宛）四萬五千個
三等　銀仁丹特製小袋　洩れなく進呈
一千個を一組として三千組の割合

本剤の活用
悪疫流行の時
氣分不快の時
口中悪臭の時
音聲を使ふ時
執務勉强の時
疲勞倦怠の時
運動散歩の時
食前食後
訪問接客の時

大正九年十一月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所　新京日日新聞社

皇軍の進擊を恐れ　馮玉祥哀願し來る

多倫を即時 退するから　中止して呉れ

反蔣的旗幟を鮮明にして張家口前面に中央軍と對峙する馮玉祥は側面多倫方面よりの李守信軍及び日本軍の進擊を恐れ、二日承德の日本軍駐屯部隊を通じ關東軍に左記三條件を提出し攻擊中止方を哀願し來つた

一、多倫を即時撤退する
一、馮軍及張家口附近の赤化工作を解消する
一、排日運動を停止する

而して關東軍としては大体多倫は日支停戰協定線內である、馮軍にして即時自發的に協定線外に撤退せば何等自衞手段に出でずとの意向を持し尙ほ行動を注目してゐる

蘇炳文の武器　ソ聯が馮軍に供給か

わが當局調査の上抗議せん

〔東京四日發國通〕三日其筋への着電によれば露國政府は昨年末日滿兩國軍の急追に遭ひ露領內に逃入せる蘇炳文の殘軍の『武裝』解除を行へる際押收せる小銃二千挺、同彈丸廿萬發、迫擊砲三、彈丸千發、野砲二門、彈丸八十發を滿洲里附近國境ダウリヤより外蒙古を經由して張家口に在る馮玉祥に送つたと傳へられて居るが、之に對し我外務、陸軍兩當局は兼ねて蘇炳文の身柄引渡しを要求すると共に其押收武器の處置に關し露國側の態度を監視中だつたので、若し傳へられる如く露國側で現に抗日反滿行動に出でつゝある馮玉祥に對し『前記』の莫大なる武器援助を行へる事が事實ならば斷然抗日援助の不信行爲に嚴重なる抗議を發す可く目下其眞相を調査中である

給與不良で勝味ない馮軍

吉岡參謀は語る

察哈爾方面の情勢につき關東軍參謀吉岡少佐は四日左の如く語る

馮玉祥は七月二十九日財政的逼迫と中央軍李守信軍の攻擊を恐れて和平通電を各方面に發したがこれと馮の『常套』手段で眞に信ずるかは勿論疑はしい、現中央軍は張家口方面の平綏線右に二箇師、左に一箇師、同じく前面に二箇師を配置し馮軍と接近し、馮も宣化と張家口との中間沙嶺、懷林附近には二、三十支里に亘つて四段の陣地を構築してゐることを見ても判る

而し馮軍は財政的に破產の狀態にあり、兵隊の給料も一ケ月一圓の有樣だから勝味はない、唯部下の吉鴻昌軍に『共產』系の者が多いから問題は相當デリケートだ、二、三日前にも馮から關東軍に何か言つて來た樣だが、關東軍としては今更言ふべきものでもない、唯協定線外へ即時撤退すれば問題は解消する、多倫攻擊に湯玉麟が參加するとか言ふが、これも關東軍は何等の言質も與へてゐない、要するに湯の誠意を充分見屆けた上だ、多倫は問題の所だが、人口七千もあり、察哈爾の貿易要地で物資の『集散』地だ、察哈爾の蒙古人も滿洲國に好意を持つて合流の氣勢を見せてゐるが、馮も亦彼等の懷柔に懸命になつてゐる樣だ然し馮軍の暴政には蒙古人も可感を持つてゐるから、なかなかオイソレとは行くまい

高橋藏相　兩相と懇談

〔東京四日發國通〕高橋藏相は葉山より午前九時着京、閣議前に官邸で鳩山文相、南還相と殖民地人事問題に就いて懇談を遂げる所あつた

貨物輻輳から　專用線の敷設

申込みが頓に殺到

近來新京に於る建設事業方面の各商會、會社より專用線軌道敷設の申請が滿鐵々道部に續々殺到してゐるが昨年邊りこは專用線所有者はその維持費だけで青息吐息だつたのが國都建設事業の進捗に伴ひ、近來はいくらあつても不足と云ふ有樣である、滿鐵では斯かる狀況に鑑み申請者の爲出來るだけ便宜を計り、不都合なき限り右專用線敷設を許可する方針である

自治領內の市場局廢止

英本國政府で

〔ロンドン三日發國通〕英本國政府は今回自治領省內の帝國市場局を廢止するに決定したが、日本品との競爭其他で此種の機關を最も必要とする際、此擧に出でた理由は英帝國各自治領並に各殖民地が同局の存續によつて莫大な利益を受けながら一向其費用を分擔しやうとせず、全部を英國政府が支出して來たため其負擔に堪えず之を節約せんとし

滿洲國の治外法權　撤廢を中外に聲明

時機は概ね二ケ年後と內定　近く我政府から

日本は日滿共存共榮の大原則に基き兩國永遠の親善と繁榮を計る爲滿洲國の政治經濟及び各般の建設に協助する一方同國司法制度の確立を促し一日も速かに治外法權を撤廢すべく兩國關係機關を網羅する治外法權撤廢準備委員會を組織し、數次に亘る會議を重ね來つたが愈々五日開催の同委員會に於て具体的大綱の決定を見る運びに立至つた、即ち

一、治外法權撤廢期は概ね向ふ二ケ年後とす
一、撤廢の範圍は滿洲國內領事裁判權滿鐵附屬地行政權の返還、其の他租稅營業等に關する權益
一、返還滿鐵附屬地に關しては二ケ年後の情勢に應じ特殊辨法の施行を見ることあるべし
一、撤廢後數ケ月の引繼期間を附し一切の事務引繼を爲す

右に關し帝國政府は近く適當の時期に於て國內及び諸外國に對し堂々聲明書を發する模樣である

政友の方針遂に轉向

地方視察員に　總務會決定事項指示

時節から極めて注目さる

〔東京四日發國通〕政友會では三日午後四時より三緣亭で地方視察員との懇談會を開催地方黨情、民情視察の調査方針を密談の後、島田總務より前日の總務會決定に基いて黨の今後の『指導』精神と視察員の地方黨員への說明方針に關聯して次の三項目を指示したが政友會の方針が一大轉向を來したものであるので注目されてゐる

一、一時黨內に急進、自重の二派が出來たが、總裁の裁可で平穩に歸り擧黨一致結束してゐる
一、對政府關係は總裁々斷の趣旨を體して進退すべく從來本位、政策本位の立場に立つて政務調査に努めてゐる無任所大臣問題は新聞紙上で散見するが未だ黨としては問題にはなつて居ない此の問題は政府から働きかけて來た場合に考慮すべきで前から黨內で論ずべきでない
一、政局の動向、政友會今後の方針は一方現下の非常時局に對應するやう他方憲政の常道復歸の要求に依り政黨聯合で國民的擧國一致の政治機構を作るべしとは黨の內外を問はず擡頭して來た意見である、此の形勢推移を注視しつゝ總裁の指導で萬遺憾なきを期したと述べた、之に對し岡田氏は此際起つて無任所大臣問題は此際入るか入らぬか決めて置きたい政黨

『聯合』は民政、政友は政策を異にして寧ろ濱口財政、幣原外交等政友會と全然相容れない、民政黨が過去を放棄し降參せねば提携出來ぬと反對を開陳し、大口喜六氏も政黨聯合に反對でないが政權目標に聯立を圖るは不可能と述べたが島田氏は輕く受け流し滿場一致で報告を承認した

シムラ會商　全權附與

問題でない

〔ロンドン二日發國通〕シムラに於ける日印會商の印度政廳代表に對し英本國が何等全權を委任しないことは確定的事實だが此點に關して、我政府としては英國政府に改まつて文書に依る通告はなさず又英政府が各印度政廳代表に全權を委任しないのは英國の對印度領の根本原則からで寧ろ對內的考慮に依るものであり、シムラ會商で到達した日印の合意に對しては英國政府は之を事實上其儘承認する意向に決定して居るので其點日本としては大して實質的問題ではないと云はる

北滿の要地

三河地方の現狀（二）

二、住民

三河地方の住民は一九一八年乃至一九二〇年即ち露國十月革命勃發直後より白軍のザバイカル撤退時に際し集團的に移住したザバイカル哥薩克を主体とする一部ザバイカル農民及露內亞異族人（トウングス。ブリヤード）それに移住支那人、極少數の滿洲土民よりなつてゐる

現在三河に於ける全部落數三十二のうち、露人以外の同一人種に依つて固められてゐるものはヤルニチナヤの滿人部落とナルマクチのトウングス人部落の二村で爾餘は全部露人部落である

露人は主として農牧、漁業狩獵に從事し、他に少數の雜貨商及バタ工場を經營する者がある、滿人は農牧、商業、官吏等で、其他の種族は牧畜狩獵、農漁業に從事して居る

三、收稅法

三河地方の收稅法は今日尙支那舊政權時代の惡弊を脫し切らず、金錢收稅による外勞役現物によつてなされて居る例へば車馬を使用しての勞力警察官及其他官吏の薪、食糧品供給等、甚しいのは稅金の代りは婦女子の提供さえ强要さるゝ狀態である

其他旅券査證料、乾草稅、農耕家畜稅薪及木材伐採稅、農耕地稅等々何れも法外の高率である、

四、文化施設

（イ）學校

三河地方の學校は吾人の想像以上に幼稚不完全極まるものである、全地方を通じて校數十一を算するが、學校としての設備をするものは皆無である、今其內より代表的のものゝ概要を略すれば次の如くである（校名無きを以て部落名を用ふ）以て全般を察すべきである

ウエルフクリー
教科書無し、露西亞地圖一枚あるのみ
教師二名、生徒約五〇名
修業期間四冬（一冬は六ケ月）

ウエルフウルガ
教科書無し
教師一名、生徒三〇名
修業期間三冬

ブラゴフエンカ
教科書無し
教師一名、生徒二〇名
修業期間二冬

シチユチヤ
教科書無し
教師一名、生徒十五名
修業期間三冬

（ロ）一般住民の智識程度

前述の如き學校にて教育を受けたる者僅かに十名乃至十五名、又成人中中等教育及それ以上の教育を受けし者全地方を通じ十名以下、他の大部分の者は何れも自己の姓名を書き自家の家畜數を算し得る程度のものであり、これは勿論交通郵便の不完全なる結果と言ふべく、新聞を毎月平均三回以上讀む者の數全地方を通じて僅々數名なりといふのであるから他は推して知るべきである

（ハ）宗教

此地方に在る教會は計四、內三はキリスト正教で、ウエルフクリー、ドラゴフエンカ、クリユチエツーヤの三部落にある、前述の樣に當方の住民は一般に智識程度低く、又崇神の念が強いから滿洲國としては宗教を利用し住民の思想善導輿論指導に當るのが最も良策ではないかと考えられる

（ニ）郵政

全地方を通じ何れの村落にも電燈なく又電話電報等の施設もなく郵政は僅かに海拉爾よりシチユチヤ迄一週に二回送附さるゝ豫定となつて居るが、それすら天候に災され勝で不規則なものである、又海拉爾－シチユチヤ以外の村落間の郵政は旅行者に託送されつゝある現狀で、その便のない時は各自馬或は馬車により之を送るより外に方法なく住民間に郵便局設置希望の聲が高い

聞く所によれば八月頃より三河地方消費組合は海拉爾－ウエルフクリー間に貨物自動車の運行（一週二回の豫定）を開始する豫定で開通の曉は海拉爾－ウエルフクリー間の郵便物も取扱ふ事になるので幾分此種の不便が緩和さることゝならう

四平街

兒童慰問　安藤氏の一行

在滿兒童慰問の爲め沿線各地にて講演行脚中の駒澤大學の慰問班安藤裕之氏外三名は來る八日來四、午後七時半から滿鐵クラブにて當地兒童の爲めの一夕の講演を行ふと

前縣長曲廉本氏　惜まれて赴任

去月二十八日の電命に依り梨樹縣々長の異動發表をみ縣參議官初め各方面に盛んなる留任運動を行ひつゝあつたが運動は遂に水泡に歸し當縣長曲廉本氏は四日午前急行にて赴任の爲め出發した、尙後任梨樹縣々長として前台安縣々長部將武氏の任命あり既に來任した

豫防注射成績

コレラ豫防注射は既報の日割で去る二日を最終日として施行されたが被注射人員は三十一日六五七人、一日六七七人、二日七一〇人、合計二、〇四四人で其のうち內地人一、〇〇四、鮮人二八三、滿人七五七人であつた

滿鐵倉庫　料金特定廢止

大連埠頭、小崗子、營口及安東驛に於ける滿鐵倉庫料金特定（分置保管貨物及同地に於て出庫する混保貨物の倉庫料及入出庫手數料）は來る九月卅日限り廢止される事となつたが九月末日迄に受寄したる貨物に對しては荷主の便宜を

三井常任監査役

〔東京四日發國通〕三井銀行では今次總會で現重役全部任期滿了となるが常任監査役山本龜光氏が辭任する外全部重任すべく決定して居るが山本氏の後任は土井文書課長と內定してゐる

輕金屬工業の　事業化愈よ實現せん

大石橋附近に無盡藏に產出

今回の吉田大將の上京を機に愈々事業化される事となつた輕金屬工業は從來輸入を仰いでゐた我國輕金屬の自給自足を爲し、延ひては『軍需』品工業として國防上に重要な役割を演ずるものとして期待されてゐるが、今回事業化される輕金屬の金屬マグネシウムは將來アルミニユウムにとつて代り輕金屬界の王座を占めんとするもので、大石橋附近に無盡藏に產出するマグネサイトを原鑛とし其の含有率廿五パーセント、最近朝鮮北部からも有望な鑛脈が發見された、滿洲に於ては數年來滿鐵中央試驗所に於て內野窯業化學科長松浦同主任等が研究に沒頭して最近工場試驗により『採算』點に到達した、金屬マグネシウムがアルミニウムに優る點は比重がアルミの大割三分、即ち次の如くなつてゐる

鐵　七・七
アルミ　二・七
金屬マグネシウム　一・七

實驗の結果に依ると金屬マグネシウムの抗張力は一七乃至二〇、延伸率四乃至六パーセント、硬度四三乃至四七となり、これらはアルミに稍劣るが輕さが充分にこれを補つてゐる一噸當りの生產量は極秘に附されてゐるが、內地理研に於ける『生產』費は約三千五百圓であるが近い將來には二千圓で生產し得る見込が確實についてゐる、此の金屬マグネシウムの用途は極めて廣く航空機器を筆頭に自動車汽車、電車、等の部分品其他交通機關に用ひられ目下開催中の滿洲博覽會には國道工場製作の客車大井灯、シートスタンド、クラッブハンド等が出品してある

安東

渡船航路　寄港漸く實現

鴨綠江輪船公司の渡船航路は從來新義州より中江鎭に至るもの及び中江鎭より新嘉鎭に至る二線に區劃され就航し、これは朝鮮江岸のみに寄港してゐたので滿人側は滿洲國側の寄港を切望してゐたところ既報の如く愈々實現、八月一日から從來の一線を延長し又連絡して安東より臨江に至る二百三十九哩五間の安東、長甸河口外岔溝、輯安臨江の五港に寄港することゝなつた

人事往來

▲東京見本市團十一名は四日午前八時三十分發吉林へ
▲青森事務所主催二十六名は四日八時四十分發ハルビンへ
▲千葉醫科大學生二十四名午後十時發遼陽へ
▲大阪醫科大學生二十名は四日午前八時三十分吉林へ
▲愛媛商業生十五名は四日午後十時發大連へ
▲國際觀光團七名は四日午後九時十五分來京
▲奈良中學校生三十名は午前六時四十分來京同午後十二時四十分發
▲[illegible]十七名午前六時四十分來京午後十二時四十分出發

天氣と氣溫

四日の氣溫最高三十一度九最低十八度五、五日の天氣北の風晴

新京區公示第一二號
新京區ノ地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日總裁ニ於テ左ノ通決定セラレタリ
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章
左開
新京區　昭和八年十月一日
但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

（譯文）
新京區公示第一二號
新京區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期由本社總裁決定之如左開
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章
左開
新京區　昭和八年十月一日
但依時宜得將選擧日期延長之

范家屯區公示第八號
范家屯區ノ地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日總裁ニ於テ左ノ通決定セラレタリ
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章
左開
范家屯　昭和八年十月三日
但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

（譯文）
范家屯區公示第八號
范家屯區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期由本社總裁決定之如左開
昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章
左開
范家屯　昭和八年十月三日
但依時宜得將選擧日期延長之

このまゝならば交渉を斷然打切る
第六次北鐵交渉の成行重視 滿洲國依然强硬

(東京四日發國通)北鐵第六次會商は四日午後二時から開催されるが兩國の主張は相容れざる懸隔あり、ソヴイエート側が非實際的要求を引かねば滿洲國側では交渉を打切り主權の必要な發動を觀ることあるべき旨を闡明し斡旋者たる外務省でもソヴイエート側が滿洲國獨立の事實に反する主張を固守し誠意を示さねば交渉打切りも已むを得ずとの意見に傾いて居る有樣だ、ソヴイエート側二億ルーブルに値引の用意有る旨を通じたと云ふが滿洲國側は掛引値だと眞面目には取合つて居らず第六次會見の成行は交渉の前途を決するものと注目されて居る

餓鬼道に喘ぐ 蘇聯內の悲慘な狀況
物資窮乏と特權階級橫暴で 人心は著しく動搖

(チチハル四日發國通)最近國境を越へ入滿せる一旅行者の言に依れば蘇聯內の物資の缺乏は其の極に達し一般民衆は飢餓に瀕し殊に下層階級は極度の食糧難に逢着し受くる給與にては到底空腹を滿し得ず草木の芽根を食して辛うじて『其の』日の糊口を續け得る狀態にて恐ろしい餓鬼道を現出して居る樣であるが從來蘇聯邦政權が據つて立つ處の軍隊及びゲ・ペ・ウ丈けの給與は普通に支給されて居たが最近には此等特權階級にも影響し來つた模樣でその一二例を擧げると先般オムスクからの一兵士の手紙の一節には「給與の不渡は其れ程痛痒を感じないがパンの配給が圓滑でないことは閉口だ」とあつた、既に此點に徵しても軍隊に於てすら『非難』の聲の集つて居る事は明白である、又ゼーア河畔でゲ・ペ・ウ國境監視隊から訊問を受けた一旅行者は三名の赤兵から煙草を强請された事實あり以上を以つてしても如何に蘇聯が食糧難に逢着して居るかを證明するに難くはない更に此外の一般生活必需品も甚だしく缺乏し女が男用靴をはいて居るのは未だ好い方で甚だしきは服裝に依つて男女の識別すら出來ない者が多數あるとの事であるそれで女靴一足の値段も二〇〇留乃至二五〇留を上下し『一燐寸』さへも一個一留とは如何に物資に拂底し居るかを窺ふことが出來る、尙興味ある事は階級打破を標榜する蘇聯に特權階級が依然として存在し居りしかも此階級及要人が民衆の餓鬼道をよそに生活してゐる事はそれ自体多くの矛盾を包藏しつつあり、斯くの如く物資の甚だしき缺乏、特權階級の橫暴は民衆の等しく憤慨する所となり、近時民心著しく動搖しつつある重大な結果を捲き起すの兆歴然たるものがある

毛皮賣りに騙されぬ用心
近頃夥しい行商人

近頃市中には毛皮の行商人が夥しく入り込んで「毛皮要りませんか、今買ふ安い」と片言で執拗に買はせやうと努める露人もあれば滿人もある、內地から來たばかりの人々はかねて聞く滿洲の防寒用意には是非なくてはならぬものと心得しかもこの『眞夏』に賣りに來る謂はば季節ちがいの品物だきつと安く賣るだらうと欲しさうな顏をすれ、客の顏色をうかゞうに敏なる彼等は決してそれを見のがさない、言葉巧みに法外な値で賣りつけてしまう毛皮はよほど鑑識にたけてゐないとあとで毛が脫落してまるでムク犬のやうな醜いものになつてしまう、それはその獸を屠殺する時季によつて、生ずる必然の現象であつてちよつと素人眼にはわからない『殊に』その値の安いと思ふのに惚れ易いのは人情であるからつかまされてしまう、毛皮を買ふなら滿洲に永年ゐる人に凡その値を聞いておいて然る後にすることだ、こんなのも車馬賃と同じく下手な買方をするものがあるとそれに連れて一般に値をあげ迷惑を他に及ぼすこととなる、注意すべきことである

吉長線下匪賊潰走

過般來吉長線下九臺營城子北方四キロの地點に集結中だつた三江好、青山好、殿臣の合流匪團約二百名は機を窺ひ下九臺方面へ進出せんとしてゐたが之を探知した下九臺駐屯滿洲國步兵約四十名は機先を制し昨夕行動を起し之に攻擊を加へ敵匪軍を潰走せしめたが滿洲國步兵隊にも相當損害ある模樣である

守備隊歸京

三日公主嶺方面に向つたわが新京守備隊六十名は四日午後三時着列車で歸京した

意氣旺盛の產業學徒一行
工科班まづ通遼へ

(四平街發)滿洲產業建設學徒研究團第二分團(工科)三百二十名は二日午後六時四十七分ハルビンより來四、同夜は滿鐵倶樂部ホール、日本間等に『分宿』三日午前十一時三十分發四洮線列車にて意氣軒昂裡に在住人士多數の見送を受け鄭家屯を經て通遼に向つた 四平街にては時局後援會主催のもとに在住官民有志多數出席、二日午後七時から同團代表七十餘名を大同電氣三階ホールに招待歡迎の盛宴を張り數時間に亘り隔意なき意見を交換且つ十二分に交驩して散會、三日は午前九時から滿鐵クラブホールにて四洮『鐵路』庶務課長約一時間の講演を行ひ多大の感動を與へた 尚ほ時局後援會から全員に對して四平街繪端書一組宛を贈つた

月經帶の中から金の棒が六本出た
又も金塊密輸始まる

(安東發)久しく絕へてゐた金塊密輸が再び始まり一日午後二時半鴨江國境南岸派出所詰巡查北山吾一氏が安東に向はんとしてゐる行動不審の一鮮女を調べた處月經帶の中から金の棒六本七匁(價格六千圓)が出て來た同女は新義州府初音町六ノ五金信娘(二六)で近頃密輸が絕えたので警察官が油斷してゐるものと思つて一攫千金を夢見前記の如く密輸を企てたものと判明した 金女は直ちに本署へ護送された

故加藤少佐ら故國へ

(大連四日發國通)無言の勇士故加藤少佐外五十七名の遺骨は四日午前十時發のあめりか丸で官民多數、學生、宗教各團體の涙の見送裡に故國に凱旋した

南支那海の諸島を發見するまで
ラサ燐礦が經過發表

(東京四日發國通)問題の南支那海の諸島を最初に發見したラサ燐礦會社では右諸島發見の經過に就き左の如く發表した 大正七年十一月初ラサ島燐礦會社の委囑により、報効丸は東京品川を出帆、其年の暮、ースデンチャー島を『發見』更に翌年一月一日サウスデンチャー島を、同十日ウエストヨーク島を發見すると共に、進んで一月十一日には問題の島チツ島、同十三日にはアツアツバ島を發見、孰れも豐富なる燐礦のるを確めて三月末臺灣に歸着したが、會社では當時東京地方裁判所に燐礦採掘權を登記した、更に大正九年秋第二回探險を決行、十二月五日ロイタ島其他を發見、同廿三日アンポイン島を發見、同樣裁判所に登記を爲した『會社』では昭和四年迄之等諸島で事業を繼續して居たが世界的不況のため爲替の關係から採算取れず、遂に休止し社員九名、工夫約卅名は引揚げたが、會社としては、財界の恢復と共に同事業は採算が取れることになつたので、問題の解決次第事業復興の豫定である

秋光流棒術 不動千里眼

東京四谷元住町に不動靈術の修養道場を有つ精神修養不動千里眼秋光流棒術等を行ふ佐賀縣人秋光晃榮師は新京に道場開設のため來着旭ホテル滯在中であるが同鄕人峯下一郎氏の案內で四日挨拶に本社を來訪した

颱風は逃げ 炎暑は當分つゞく
お蔭で百姓はホツト一息

また暑氣が盛りかへして來た、三日も四日も九十度近くの酷熱、先頃俄かに襲つて來た冷氣夜は單衣では冷へる窓を閉めて寢るといふやうな急激な氣候の變調の後を受けてゞあるだけに市民は悉く釜中で煮られるやうな熱さの苦惱に喘いでゐるが反對によろこんでゐるのは近郊の農民達で、先頃のやうな冷氣が土用なかばに來ては五穀も實らぬと悲鳴をあげてゐたのが杞憂に終つたかたちである、小笠原島は邊に稀有な颱風に見舞はれ被害も甚大だとの電報があり滿洲方面へもその餘波が及ぶのではあるまいか、また急激な氣候の變調が來るのではないかと測候所にたづねてみると、小笠原島を荒した低氣壓は既に朝鮮海峽を越へんとして居り滿洲には影響はあるまい、また暑氣も此儘當分つゞくであらうとのことであつた

盛夏三題
……何か適切な銷夏法は? 各方面に聽く (9)

お尋ね
一、今年の夏はどうしてお暮し遊ばされますか
二、避暑地にはどこが一番よいでせうか
三、何か適切な銷夏法はないものでせうか

〇 副領事 佐々木高義氏
一、每年夏になると色々な暮し方を考へて見るも實現することは稀れなので近年は何も考へずに居ります
二、滿洲方面は日淺きため未だ適當な避暑地を存じません
三、銷夏法としては自然に從ひ自然を利用し而して自然を征服することに心掛け居ります、その結果炎熱も左程苦にならずに暮しております

〇 新京醫院齒科醫長 鹿野八千代氏
一、今年の夏と限つたことはありません、年中患者さんに追ひ廻されて避暑どころではありません
二、避暑地、其の人の氣分で湯崗子、星ケ浦よし、老虎灘、夏家河子よしですが氣分に落ち付きがない樣です 自分は連山關が一番落着いた氣分があつてよいと思ひました、山紫水明、溪流に水車の音流るれば林間に鶯聲を聞き、夕は螢のたのしみもあり、內地そのものゝ落ち付きがあります、只何人をも入る宿舍なきを惜しみます
三、來る日も來る日も馬車馬の樣な勤めをしてゐる我々には唯我家に歸る事そのものが銷夏法であり又避暑地です

〇 興安總署次長 菊竹實藏氏
一、働いて暮します、判りませぬ
二、知りませぬ
三、一向存じませぬ

〇 大滿蒙新聞社長 大石隆基氏
一、仕事(涼しい新京から近く暑い內地へ十日許り旅します)
二、仕事場(忙しい仕事場が一番暑さを忘れるやうです)
三、仕事(新聞記者の仕事はその日其日が愉快で特に銷夏の必要が無いやうです)

〇 室町小學校長 上原種豐氏
一、折角の夏季休暇を漫然と過ごしても惜しいと思ひまして今歲の夏は金剛山行を計畫し、一週間の余暇を得て十七日に出發し二十二日に歸つて參りました金剛山は確に天下の奇觀でした、山と水に緣の薄い當地などに住つてゐる者には時にあゝした、偉大な自然に接することも必要かと存じました
二、興安嶺、小白山鏡泊湖畔と北へ〳〵と北滿の大自然に親しめる時の來ることを祈つております

〇 新京署長 高山勝司氏
一、御仕事大切に働きます
二、星ケ浦(安全にして風光明媚)
三、私としては氣樂な讀書と入浴

〇 新京放送局アナウンサー 犬飼憲治氏
一、仕事の性質上年中無休、今夏に限らず動く中に夏の方が過ぎて行きます
二、滿洲に日淺く適當なる避暑地を知らず
三、働くことが一番次は暇があれば午睡、其他の方法は我々に緣遠きものばかり

「漂泊のトロツキー再び浮び上る」
在哈露人間でも大衝動

(ハルビン三日發國通)巴里一日附のフランス〇〇は空前のセンセイショナルなニユースを報じて來た、事の眞疑は少時別個の問題として其內容は左の如くである 即ち巴里に於て發行される露字新聞「ウオズラズジエニエ」(蘇るの意)所報によれば、最近獨裁者スターリンと意見を異にした結果、遂にソ聯より『國外』に追放されたロシア革命の元勳トロツキーが前非を悔ひ共產黨復歸の誠意を披瀝した結果、スターリンも遂に我を折つて其の歸順を許した結果、外務人民委員長リトヴイノフはフランスの或る避暑地で秘かにトロツキーと會見し、トルコの「アンゴラ」に於けるソ聯大使「スーリツ」とトロツキーとの歸順の下交渉を取纏め、過去の一切をあつさり水に流す事になつた結果、ソ聯政府は去る七月二十五日ソ聯を『法律』的に承認したスペインにトロツキーを初代全權大使として起用する事になつた、又ソ聯政府はアメリカがソ聯を法律的に承認すれば、米、ソ兩國關係の重要性に鑑み人物識見からトロツキーを駐米全權大使に起用する方針で更に浮び上つたトロツキーはソ聯外交官として最近パリを訪問する事になつてゐるといふ內容である、右はハルビン三日の夕刊露字新聞に特別大書され、空前のセンセイションをまき起してゐる

大連市內の出版物檢閲
大連署で統一

(大連四日發國通)大連市內にて發行される百九十餘種の各出版物の檢閲は從來大連四警察署に於て行はれ屢々不統一の非難を受けてゐた所に鑑み、大連署に於て統一檢閲方本廳に具申中の所本廳に於ても其の必要を認め愈々近く實施の運びに至つた、檢閲係員は便宜上大連署末光警部以下これに當る筈である

無料宿泊所
北滿に二つ設置 駐屯軍の貧民救濟

(ハイラル三日發國通)日本軍司令部では當地駐屯以來關係官廳と協力して諸般の施設に意を注いでゐるが、食糧缺乏に堪えかねて當地方に逃入し來る白系露人、蒙古人及び地方のルンペンを救濟するため、かねて計畫中であつた無料宿泊所は此程漸く準備成り來る五日より開放することになつた、尚滿洲里に於ける無料宿泊所も兩三日中に開放される筈である

滿洲國軍先勝
對早大野球戰

早大第二軍對滿洲國の野球試合は四日午後三時十分から西公園グラウンドで滿洲國先攻で林滿洲國最高法院長のあざやかな試球式に試合と華々しく開始された、滿洲國三回三點を先取し續いて四回一舉六點を得た、これに對し早大は三回迄無得點で進んだが四回三點を得、續いて五、六回一點づゝを入れ七回一舉四點を加へ同點となり接戰を交へたが九回滿洲國一點を加へ十對九の大接戰で早大惜敗した、閉戰五時十分、審判川上(球)小野、田中(壘)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
(先)滿	0	0	3	6	0	0	0	0	1	10
早	0	0	0	3	1	1	4	0	0	9

全埼玉と州外劍道
州外軍勝つ

(奉天三日發國通)全埼玉縣對州外劍道對抗試合は昨日午後三時より奉天滿鐵社員クラブ道場に於て高野佐三郎、高野茂義兩範士審判の下に開始された、場內には此の名試合を見んものと觀衆は立錐の餘地無き迄に詰めかけ試合の進むに伴れて息詰まる樣な緊張振りを示したが結局遠征の全埼玉軍に利非ず十四對十一の大接戰を演じて州外軍凱歌を奏し、兩軍メンバー並に戰績左の如し(〇印勝)

全埼玉軍 州外軍
先鋒(三段)〇〇濱田治雄 先鋒(三段)〇諏訪春一
同 〇內田和助 同 〇〇古川武德
同 〇〇大塚友重 同 〇中村正義
同 〇〇富田林治 同 〇岩崎金十郎
同 〇〇野口悟 (四段)佐藤勝藏
同 〇〇荒船愛之助 同 橋本靈生
(四段)〇菅原琢爾 同 〇〇藤川時次郎
同 〇茂木光雄 同 〇〇根北常彥
同 〇原島恒太郎 同 〇〇山守英一
同 〇〇山本亮 同 〇加藤英三
(五段)〇香賀吾三郎 同 〇〇可兒廉平
同 宮內勝 同 〇〇竹內正憲
同 〇中井伊一 同 〇〇黑岩盛隆
同 〇〇栗原陸幸 同 〇福之澤吉一
同 〇早川道之助 (五段)〇〇眞山信太郎
同 〇〇高米一郎 同 黑田吾一
同 鎌倉玄泰 同 〇〇山口安男
同 加治道始 同 〇〇野中靜次
同 〇〇篠崎榮春 同 柴藤茂巳
同 梅澤好三 同 〇〇竹村兼十
同 〇〇小島榮一 同 〇佐藤倉之助
同 堀內久藏 同 〇〇安齊多一
同 〇北村博學 同 〇〇石崎烈
副將五段 〇眞下子之藏 副將五段 〇〇佐藤重藏
大將五段 〇〇間中毘太郎 大將五段 〇守谷剛一

▲ミス東洋のレイ子數日前迄は東洋軒でフサ子と名乘つて常連を惱殺してゐた人だけにフアン連はその面影忘れ難く早くもミス東洋へお百度をふんでゐる▲曾我廼家の福太郎最近目出度く退院至極健康にはしやいでゐる、それも道理近頃彼氏?を見付けたそうだこがゝまりイチヤ〳〵すると又入院が申付けられますよ▲ス新京と改名したモスコー余り變り榮えがせぬ、この原因は果して何邊にあるだらうかジヤンダイは今少し營業方針を改良する必要があると▲ミス新京ビイキはるいやいてゐる▲滿洲の雪子先日馬車をかつて一路西公園へ疾走してゐた彼氏?が多いとさかくも忙しいものか[illegible]彼女の間斷なき活動振には實に感心する外はない

國都醫院開院

新京國都醫院長、朝鮮總督府派遣醫崔氏は今般新京朝日通十九番地に愈々設備萬端完成し開業する事となつた、氏は內科、小兒科、外科、皮梅科、產婦人科等、一般に亘り診療すると言ふ、病室の如きも最も理想的に建設されてあり、今後氏の躍進ぶりは非常に期待されて居る

吉凶禍福

△新京露月町三丁目五五號野田軍治氏三女、信子さん七月二十九日出生
△新京日本橋通六六紗島義男氏四男新一さん、七月十四日出生
△新京東五條通一六井村重次郎氏、二日午後六時死去
△新京東二條通二七片淵方奥清氏、三日午後七時五分死去
△新京日本橋通六九荒瀨淸水氏一日午前九時十分死去

夏のよみもの

實話

水葬の女(下)

澤村禮介作　山本光文畫

三

「あ」

舟橋は思はず聲をあげた

「ごうしました」

といふ聲に舟橋が眼を見ひらくと、舟橋はいつの間にかその死美人が首て倒れてゐたベツトの上にゐた

醉ひがまはつて來て、ついで彼は寢入つたものらしい、そして死んだ女の夢を見てゐたのだつた——一人のセーラーが、寢てゐる女に桃色の粉末をした藥をそつと飲ませやうとすると、女の微かに開いた眼が、力なげに微笑む——そんな夢を見たのだつた

「もう一時ですよ、そろそろ出ませうか」

船醫は舟橋を促して室を出た

廊下を通つて前甲板に出ると小雨がシトシトと降つてゐた

その中に人が二人カンテラを點してゐる、舟橋と船醫とはそれに近づいた、大きな酒樽が、太い荒繩で結んでそこに置かれてある

「重りはいゝかい」

「大丈夫です」

水夫長は船醫に答へた、船醫が時計を出してカンテラを見た、その時マストの上から鐘が一つ鳴つた

「ライト、オーライ、サー」

マストの上から聲が傳はつて來た

「やらう」

船醫がいつた、棺は水夫長と副長との二人で動かされた

船のデツキから青白いサーチライトが、舟橋達を照らし出した、棺は運ばれて船べりに近づく、そこに繩が結びつけられてある、その繩に棺は結ばれた、繩は次第に曳かれて棺は高まつてゆく、一寸、二寸五尺、棺は柵に登つた時、水夫長が太い棒で棺を押した、棺は柵の外にぶらさがつてしばらくゆれてゐた

突如、汽笛がボーボーと物寂しく鳴つた、そしてその汽笛が尻長く大海の底に消え失せた時、ドボンと大きな音が船べりの海で起つた時、强く光つたサーチライトの光に波の飛沫がキラキラと躍る、また一としきり汽笛がなつて尻長に海の果に吸ひこまれた

そして熱帶近い海の夜光虫が氣味惡く光つてゐた、光る、動く

四

シンガポールに船が入つたのは夕暮近い頃だつた、船客達はしばらくぶりに日本座敷で、日本流の料理を口にする機會を得た

港近い料亭の二階にうち寛ろいだ船客の中に混つて、舟橋は自動車の來るのを待つてゐた、十幾人の人の內、彼一人はタンジヨンカトンまで自動車里程一時間以上を行かなくてはならないのであつた、しかし彼はそれを誰にも話さなかつた、彼のポケツトには一通の手紙が入つてゐた、此の手紙のために、彼はたゞ一人タンジヨンカトンへ行かなくてはならないのである、彼は折のよい頃を見計つて、一人で自動車に乘つた、そして船でたのまれた一通の手紙をポケツトから出して

「タンジヨンカトンのこさぶきへ」

舟橋は運轉手にさういつてから、封書の傍に「おふき殿へ」と書いてあるのを見た

椰子の街道に夏の月が照してゐた

こゝぶきについてから、舟橋はおふきさんを招んで船醫の手紙を渡した、二十七八の長崎辯のおふきさんは、どこともなく見覺えのある女である、そして讀みながら驚いた樣子が見えたが、舟橋には何も說明しなかつた、一本のビールと南洋の果物に醉つた彼は、眞白な蚊帳の中のベツトに倒れた、窓をあけ放つてゐると、風は水の如く蚊帳を動かした、その蚊帳の動く音の合間々々にサラサラと椰子の葉のさゝやくのが聞えてゐた

ふと物音に氣がついて舟橋が目をさましたのは、餘り時がたつてゐない樣な氣がした、時計を見ると午前四時だつた、南洋の夏の夜が白く明け離れて、頸を半ばベツトの上で起してみた舟橋は、思ひがけず庭、椰子の五六本先きに海の波が白く見えたのに目を瞠つた、南洋の明けの早い朝であつた、

ふと、かすかな音がしてドアが外から開かれた、舟橋はヒヤツとして床に身をたふした、そして眠り足らぬ眼をかすかに見開いてドアの外を見た

眞白な女がスラツと立つてゐる、その丈の高さ、帶から下の裾までの細さ、そしてその頰のこけかた、然もジツと彼を見つめる眼のうす氣味惡さ！

彼はその姿をジツと見つめた、女は白い裾を動かして室に入つて來る、彼はゾツとして、一度は眼を閉じたがかすかに衣ずれの音がする、そして彼が再び眼をかすかに開いた時……女は右の手に蚊帳をソツと押へてゐた、そして女の眼は彼の寢姿をみつめてゐる

彼は全身にあわ立つ思ひで、また眼を閉じると、じつとりと冷汗が出て來るのを感じた、その時、彼の網膜に一人の女の姿が浮んで來た、それは白いベツトの上に、力なくよこたはつてゐる、一人の女である、船醫の室に深夜運ばれた女の姿である、水葬の女だ、彼はハツと思つてまた眼をかすかに開いた、その時既に女は彼の枕下近くの蚊帳の外に來てゐた

あの女だ！あれに相違ない！そしてあの棺に入れられて、不知火の海に葬られた女である、女も動かれ、彼もジツと女をみつめてゐた

その時

「さきや、おさき、お前何處へ行つたの」

その聲はおふきさんの聲だつた、彼の蚊帳に立つ女はその聲をきいて、またもとのやうに靜かに足を滑らせて、ドアの外へ消えた

彼はほつと溜息をついた、廊下でかすかに聲がする

「お前ごうしたの、心配おさせでないよ、折角船醫さんのおかげでこゝまで逃げて來て……」

後はかすれて聞えない

彼は床から立ち上つた、そしてベツトを下りて蚊帳を上げてバルコニーの方に歩いて行つた、すでにほのかな日の光りが椰子の樹の峰を明るくしてゐる、白い南洋の睡は彼の眉の間に冷たい風を送つて來た

海の外から

口汽船がアパートに

ノルウエーの首府オスロオは現在でも家屋拂底で世界的有名な都市であるが、最近同市實業家達の提案で市有となつた英國大西洋航路定期船ザ、カアマニヤ號の船室も何うやらアパート式に改善されたので近く一般から住居希望者を募ることゝなつた、尙同汽船は二萬噸餘さ二百米、船室六百有餘、永久に船渠內に屯し此の所謂船形アパートの觀がある

口犬を治して最高褒狀

スペインのマドリツドに在るコンセプシオン、アレナール少年赤十字團は此の程動物愛護協會から最高褒狀を授與された、理由は團員達が街路で電車に傷つけられた宿なしの一匹の犬を拾つて完全に治療し面倒を見た爲であると。

口米國の冬季溫度

米國政府最近の發表に依れば三三二年度冬季平均溫度は過去六十年間に於ける平均溫度よりも華氏四度の上騰を見、其因は國人の火氣使用量の增加に依る由

口山岳ファン大喜び

加奈陀の山岳地方では國人の山登りファンを喜ばす爲、傾斜面にレールを敷設して無蓋トロツコを載せ下山の際無料使用せしめることゝしたので此の所大人も子供も大喜び

連載漫畫　二人上戶(ふたりじやうご)

ゲラトベソ キモノハブジタトカエツテキタ
カン助「キタママデ ハイルナ
ゲラ「トラレルトコマルカラ

ベソ「サア、コレカラ カンチヤソノキモノサガシヂヤ
カン「オノレ ドロボーメ イマニトラヘテミセルゾ！

ゲラ「アヘヽヽ コキシヤメオハキモノノユクエヲ ミテモラヲ
ベソ「ソレガヨイヽヽ
カン「ウセモノヲ ミテクレ

コキシヤ「ハハア キモノダナ
カン「ソレガドウシテワカル
エキ「ヘダカデ アルクモノハキモノヲトラレタトスグワカル

日本基督集合報

日野眞澄先生各派合同講習會

日野眞澄先生の來京と諸集會が左の通り決定致しましたから何卒御出席下さい、猶は此集會は組合敎會と日本基督敎會、メソヂスト敎會合同であります

八月五日午後一時四十分新京驛御着

同　同　二時婦人會中央通於日本基督敎會堂 題「イエスの敎訓法の特色」

同　同　八時傳導集會於新京組合基督敎會集合所 題「格の眞髓は何處にありや」

六日午前十時日曜禮拜於日本基督敎會々堂 題「人生に於ける悲劇の意味」

同　午後八時傳導集會於新京組合基督敎會集合所 題「共存共榮の人生觀」

猶先生は現に、同志社大學敎授、龍谷大學基督敎講座、京都帝國大學基督敎講座、神戶高等商業敎授(倫理學講座)を御擔任になつて居ります、哲學者であると共に基督敎界の大聲でありまして殊に火災に遭ひ一時に愛兒四人を亡はれ人生の大悲劇を經驗せられた信仰其ものゝ樣な方であります是非一度は御聽聞き下さい

八月二日　新京組合基督敎會

愛兄姉各位

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
沽鯛	一壹	チヌ鯛	五二
小鯛	五五	ニベ	二六
ヒラス	四五	サハラ	六〇
スヽキ	三一	サバ	三九
星カレ	二〇	ヒラメ	三〇
ホラ	三〇	コノシロ	三
マナカツ	四〇	アブラメ	三五
ツヨリ	四五	ハゼ	二一
フカ	一七	タコ	四五
イカ	四〇	水イカ	一〇〇
イセエビ	大[illegible]	車エビ	一〇〇
コエビ	四〇	ハモ	二七
アワビ	九〇	ハマグリ	一〇
シジミ	二〇	カマボコ	三〇
舌	三〇	ヤズ	四八
マス	一五	ウナギ	一三

變幻黑船往來

熱河載上映及上演

(作)寺島柾史　(畫)布施長春

第百二十一回

溺れぬ人(六)

一部始終をきゝをはつた白軒は、たき火に片頬を美しくそめながら感慨深さうに相手をみた。

『なるほど、さういふ次第でござつたか。して、これより如何なさるな……』

當然の質問である。

『これより一先づ高島に戻り、夏川氏と共に改めてアレキサンテル號に[illegible]の覺悟でござる』

『して……』

『何よりもまづ、あの乾典膳、國を毒する稀代の惡人を打取らずにおくものか』

極度の疲勞に青ざめてゐれど武七郎の身のうちには、さすがに熱血があふれた。

『典膳を打取るだけでよいか』

『それで、目的の大部分は遂げられたのだ。悪旗本の典膳は、察するところ稀代の陰謀狂、おのれの慾望を滿さんがために、薩長の大陰謀をむかふに廻し、これと勝負を爭はんの大野望を抱く曲者でござる。彼奴を生けおいては、彼奴の策動によつて幕府はその進退をあやまることをひき起しかねまい。かくては、ひとり徳川一統の衰運を早めるのみではなく、わが日本國の破滅の因をなすであらう。

『なるほど、その策動は、典膳一人の腹かな』

『いや、もとより典膳一人の腹ではござるまい。拙者のみるところでは、同じくアレキサンテル號に乘組むピコル少佐、これも典膳と同じ腹のやうでござる。いや、ピコル少佐の腹は、とりも直さずフランス國の黒い腹である。イゲレスが薩長をいゝやうに使つて日本國を盗まうとする魂膽であると同時に、佛蘭西國も徳川方を使嗾して平地に波瀾を生ぜしめやうとする怪物、そのフランス東洋艦隊の軍師ピコル少佐の策動に油を注ぐ乾典膳、彼奴をなきものにするのが刻下の急務と存ずる』

『して、アレキサンテル號へ再度の乘込み手段は?』

『さア、そこまでは考へ及んではをらぬ……なアに、夏川氏と拙者が、いのちを賭して乘込むからには、たかゞ典膳一人、取逃がすやうなことはない』

武七郎の腹は、もう磐石のやうに決つてゐる。

『いや、その意氣ならば大事あるまい。で、貴殿等二人きりで決行なさるか』

『もちろん、外は足手纏ひでござる』

江戸の兇状持ち松井白軒に何もかにも打明ける武七郎を白軒自身むしろ妙におもつた。

『若、拙者が、その典膳の味方であつて、この場において貴殿のその擧を阻止しようとしたなら……』

白軒は、わざと冷たくいつてのけた。

『うむ、そのときは、いのちの恩人だが、先づ貴殿を血祭りにあげよう』

チラと、白軒を尻眼にかけた。

『磯貝氏』

白軒は改めて相手を凝視した。

『おう』

『江戸の兇状持、この松井白軒もやはり日本の人民でござる』

『なに!』

『貴殿の火のやうな愛國の熱情に決して劣らぬだけの血を拙者とて持合してゐる』

『では……』

『おうさ、拙者もそのフランス軍艦に乘込んで、奸賊等を打たひらげたい。磯貝氏、足手纏ひながら拙者を一枚それへ加へて下さらぬか』